

# はつくら子ども食堂

---

松原若菜 紅林野乃花

## 開催場所

はつくら公民館 くらら 〒427-0111 島田市阪本1336番地の1 TEL0547-38-0002

## 目 程

月に1回（毎月最終週の土曜日）

## 料 金

大人：300円 子ども：無料



## 9月30日 1日の流れ

8:30～10:45 調理

8:50 朝礼

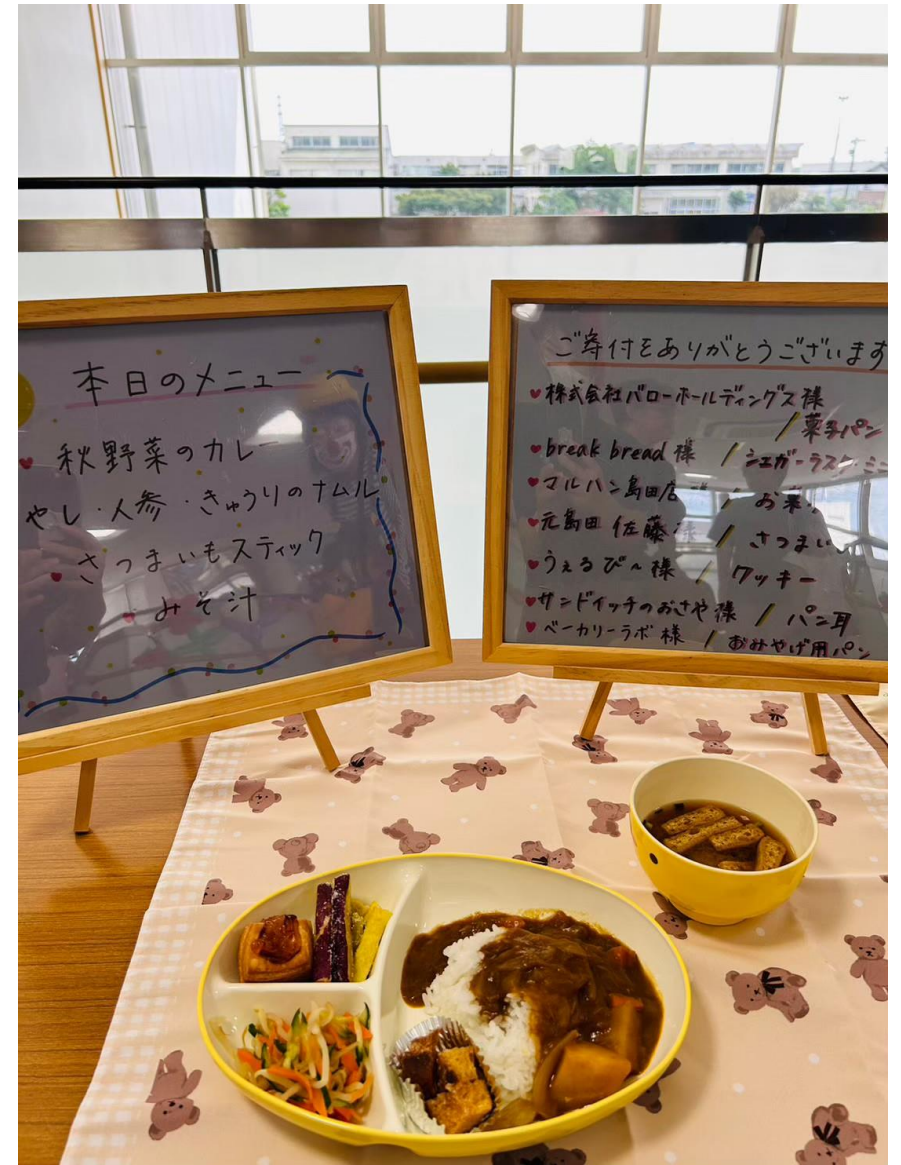
11:30～12:30 受付した人からご飯の盛り付け

→ご飯を受け取った人から大きな部屋でご飯を食べる

14:00まで部屋を開放

子ども83人 大人72人 (155人) + スタッフ分

# 164食分



## Q. いつから子ども食堂を始めたか

- 2019年 3月から

## Q. 子ども食堂を始めたきっかけは？

- 代表の青山さんがPTAで活動をする中で、地域の子どもが集まる場所を作りたいという気持ちが強くなった。  
生きずらさを感じる子どもに少しでも明るい気持ちになってほしい、逃げ場になりたいという思いから子ども食堂を始めた。

## Q.現在のボランティアの人数は？

- 調理をしたり、配膳をする60人のボランティアと食材を提供してくれる農家の方々や、会社など様々な人の支えで成り立っている。

## Q. 食材費はどこから出ているのか？

- 大人の料金300円を材料費として使い、あとは寄付していただいた物で作っている。寄付していただく企業には、スーパー、社会福祉協議会、農家、ボランティア、市役所などがある。

## Q. 子ども食堂をされていて良かったことは？

- 子どもの笑顔を沢山見ることができること。
- 人とのつながりが増え、応援してくれる人が集まってくれること。
- 人生がより豊かになり、今まで見えなかった人の集まりの素晴らしさを知れたこと。
- お客さんとしてだけでなく、ボランティアとしても居場所が出来たこと。

食べるものに困ったり、貧しい思いをしている子ども限定で子ども食堂を開催すると、生きづらさを感じている子がいたとしても、その子にもプライドがあったり、情報が届かなくて子ども食堂に来づらくなってしまう。



子ども食堂を年齢や性別を関係なく誰でも来れる場所にすることで、貧困の子どもも来やすくなる。特別扱いをするのではなく、大勢のうちの人として接することで本当に支援を必要とする子どもに「子ども食堂」として支援する場所を提供することが出来る。

## Q. これからの目標は？

- 与える側 与えて貰う側としての境目をなくしていきたい

